

教育実習指導

教職課程科目 / 1 単位 / S 授業

担当教員 登坂 学

■使用テキスト

山崎英則(編著)『教育実習完全ガイド』ミネルヴァ書房

※スクーリングでは参考程度の使用。各自熟読し、適宜質問のこと。

◆参考テキスト

教場で指示する。

講義概要・一般目標

教育実習にあたりしっかりと意識を持てるようにするため、学校教育にかかわる実践的な知識・技能を学んでいく。

教育実習におけるさまざまな場面を想定して、これまで教職課程で学習してきたことを実践的側面から捉えなお。その際、学校教育の現場で長く教鞭をとられたゲストスピーカーを招聘することも考えている。

講義においては、大卒次のような内容を修得する予定である。

- I 教育実習とは
- II 児童・生徒の素顔
- III 実習を受け入れる立場から
- IV 教材研究と授業構想に基づく授業づくり
- V 反省と課題

本研究の中で最も重要なのが、模擬授業を体験することである。まずは実習で授業を担当するであろう範囲のなかから一単元を選び、ベーシックな教育指導案に基づいて授業を試みる。指導の技術については、もちろん実習校で担当の先生から学ぶべきものであるが、やはりはじめの第一歩は実習に出かける前に履修しておかなければならない。指導案の作成に関しては準備が必要なので、メール等を活用しつつ1か月程度の事前指導を実施する予定である。 登坂 学 tosaka@phoenix.ac.jp

到達目標

- 1) 高等学校及び高等学校教育実習の意義と目的を理解し説明できる。
- 2) 高等学校教育実習の特性を理解し説明できる。
- 3) 高等学校における一日の業務の流れを理解し、それに即した生徒指導を構想できる。
- 4) 授業指導案を作成し、模擬授業を実施することができる。
- 5) 黒板や音響設備、パワーポイント等機器を活用した指導を構想・実践できる。
- 6) 高等学校教育実習に臨むレディネスを形成し、自己の行動についての自信を持つことができる

評価方法

出席状況（遅刻・欠席は不可）、受講態度、提出レポート、科目単位認定試験（スクーリング最終日に実施）。